

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)太陽生命江坂ビル建替え計	階数	地上13F
建設地	吹田市広芝町10-6、10-7	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	234 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年10月6日
敷地面積	1,397 m ²	作成者	株式会社大林組 大喜多孝哉
建築面積	934 m ²	確認日	2015年10月6日
延床面積	9,171 m ²	確認者	株式会社大林組 大喜多孝哉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 98%
 ③上記+②以外の 98%
 ④上記+ 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 江坂駅周辺の景観にふさわしい、周辺環境に調和した建物である。		その他 全周バルコニーの採用により、日射による建物への熱負荷を低減している。また、窓からの転落防止、高所による不安解消の役割も担っている。
Q1 室内環境 屋光率を十分に確保し、明るく快適な空間を形成している。	Q2 サービス性能 各階を余裕のある階高とし、ゆとりのある空間を形成している。	Q3 室外環境(敷地内) ラウンジからガーデンテラスを望める開放的な空間とし、内外部を連続させている。
LR1 エネルギー 住戸については、日本住宅性能表示基準「5-1.断熱等性能等級」における等級4に相当する温熱環境を確保している。	LR2 資源・マテリアル 現場発泡断熱材、空調冷媒ガスにODP=0の材料を採用している。	LR3 敷地外環境 周辺の交通負荷抑制のため、荷捌き用車両の駐車スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0055

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	(仮称)太陽生命江坂ビル建替え計画					
	建設地	吹田市広芝町10-6、10-7					
	用途/区分	集合住宅 病院 物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	建物全体 1.0 住戸・宿泊 5.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.3	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.3	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.1	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	2.1	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				